

科目名	映像ドキュメンタリーと国際政治
担当者	手嶋龍一
配当学期	春学期 集中講義
単位	2単位
授業概要	米ソ冷戦下のキューバ・核ミサイル危機、劇的な米中接近と台湾海峡危機、9.11同時多発テロを機に設けられたグアタナモ収容基地、ブッシュ・ゴアが対決した2000年大統領選挙戦—。世界の行方に重大な影響を及ぼしたこれらの事件を扱った映像ドキュメンタリーを素材に、国際政治の実相を多角的に検証していきます。一連の講義では、受講者それぞれが歴史のプレーヤーとなって国際事件を同時進行の形で追体験してみます。こうした参加型の講義を通じて、絶大な権力を委ねられた指導者が直面しなければならなかった決断の内実を探り、現代史の実相を多角的に検証していきたいと思えます。
授業の到達目標	本講義で使用する映像ドキュメンタリーは、国際事件から時間を経て当事者にインタビューを試みて制作する従来の手法に拠らない作品を選んであります。歴史の結果を予め知って、それらの出来事を考察するのではなく、同時進行の形で近未来に挑んでみることを特徴としています。従って一連の講義は、「近未来に分け入っていくわざ」だと解説されるインテリジェンス論を形を変えて学ぶことを目指しています。
授業計画	上記のテーマに沿って、手嶋自身が制作を担当した映像ドキュメンタリーを教材としながら、受講者が役割ごとに分かれて、国際危機のシミュレーションを行います。 (1)『決定の瞬間—記録されていたキューバ危機』(1999年、NHK総合、芸術祭参加作品) (2)『一年目の真実-9.11追跡ドキュメンタリー』(2002年、NHKスペシャル) (3)『カリブの囚われ人—グアタナモ収容基地ルポ—』(2004年、NHKスペシャル) (4)『アメリカ大統領への道』(NHK制作) (5)『映像の世紀』(NHK制作)

	<p>【講義日程】</p> <p>6月29日(水) 2・3・4・5時限</p> <p>6月30日(木) 1・2・3・4・5時限</p> <p>7月1日(金) 1・2・3・4・5・6時限</p>	
教科書	教材：同上	
参考文献	<p>『たそがれゆく日米同盟』『外交敗戦』『ウルトラ・ダラー』『スギハラ・ダラー』『インテリジェンスの賢者たち』(以上5冊とも新潮文庫で入手可能。手嶋龍一著)、『インテリジェンス 武器なき戦争』『ライオンと蜘蛛の巣』(以上2冊、幻冬舎、手嶋龍一著)、『葡萄酒か、さもなければ銃弾を』(講談社、手嶋龍一著)『21世紀の戦争』(文藝春秋、手嶋龍一著)、『外交』(日本経済新聞社、ヘンリー・キッシンジャー著)『ベスト・アンド・ブライテスト』(デビッド・ハルバースタム、朝日文庫)</p>	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	
	レポート 40%	
	平常点評価 60%	講義への貢献度
	その他 %	
関連 URL	手嶋龍一オフィシャルサイト、新潮社オフィシャルサイト	
備考	レポートは、一連の講義の最終時間に執筆、提出してもらいます。参考文献の持ち込み、引用は可とします。	